

令和7年度愛媛県美術館協議会の開催結果について

- 1 会議の名称 愛媛県美術館協議会
- 2 開催日時 令和7年11月18日(火) 14:00~15:50
- 3 開催場所 愛媛県美術館 3階 会議室
- 4 出席者 愛媛県美術館協議会委員6名(4名欠席)、事務局5名
報道関係者1名、傍聴者なし
- 5 協議事項 すべて承認
(1) 令和6年度事業報告、令和7年度予算及び事業について
(2) 中期運営計画について
(3) 令和8年度企画展等について
- 6 主な意見

【事業報告・事業計画について】

●主要事業の成果について

- ・昨年度要望した来館者数以外の実績や成果について説明があり、努力されていることがよくわかった。
- ・道後温泉ものがたり展は、来館者数の実績だけでなく、地元県民にも観光客にとっても、歴史をふまえ、新たな魅力を知るよい機会になった。また、研究面や、地域との連携が得られた点でも評価できる。
- ・コレクション展はサブタイトルも工夫し、様々な展示方法を開発するなど、学芸員の研究の場としてもよい機会となっており、大事にして欲しい。
- ・全国巡回のミュシャ展においても、地元作家と関連付けた展示内容が評価できる。

●写真撮影について

- ・海外の著名美術館では写真撮影可能なところが多い。作品を身近に感じてもらうため、ぜひ積極的に検討してほしい。

【中期運営計画について】

●特別体験プログラムについて

- ・夜間開催の人数限定プログラムは、準備等大変だと思うが、募集人数が少なく、年に1回の開催ではもったいない。将来的に、拡大できればよい。
- ・文化観光の名のもとに試行するのはいいが、継続するなら、学芸員の日常業務に影響がないようにしてもらいたい。

【令和8年度企画展について】

●ファインアートについて

- ・わかりやすい企画展というのが好まれる傾向にあり、全国的に収支が取りにくいファインアートの分野は厳しくなっているが、描写力、造形力のある美術を見ることができ、目を養える美術館の役割は重要であり、コレクション展のような取組みを主軸にしていかないといけない。

【その他】

●中庭の空間について

- ・イベント時に中庭で食事をされている様子を見て、ここはいい空間であり、2階展望ロビーとともに、もっと活用してはどうかと思った。

●対話型鑑賞について

- ・学校展開している対話型鑑賞について、子どもたちが鑑賞した所蔵作品を、家族と一緒に美術館に観に来てくれるようなしきけができれば、鑑賞の眼を養うとともに、来館につなげられる。

●企業所蔵の美術品展開催について

- ・以前開催した地元企業の所蔵品展の第2弾を開催したらよいのでは。